



子供達の国

先日「マーブルタウン」というイベントに参加して来ました。口で説明するのは難しいのですが、簡単に言うと体育館の中で一つの街を作ろう！というものです。しかも、子供達だけで！もちろん、事故や怪我が無いように、また多少のアドバイスをするために大人もいるのですが、基本的には全て子供達だけで運営してもらうと言うものです。どういう仕組みかという、まず入場すると、お金（マーブルと言う独自の通貨）を稼がなくてはなりません。公共事業と称したモニュメントとなる看板を作成したり、警察官をやったり数多くの公共事業をお手伝いしてお金を稼ぎます。もちろん、その中から税金も徴収されます。そのお金で新たな公共事業を行っていきます。ある程度お金が貯まった子はお店を出店します。出店料を払ったり、問屋と言われる所で材料となるものを購入して

オリジナルの商品を販売したりします。中には商品販売するのではなく、クジ引きやさんを経営したり、ネイルのお店みたいな技術を売るお店も出てきます。2日目からは選挙も行って町長まで決めちゃいます。どうです？面白そうでしょ？これを全部子供達が運営していくのです。すごいですよね！ただ、子供達にしてみれば夢の国なんです、大人達にしてみれば、苦勞の国…なんです。どうしてかと言うと、このイベントは4日間開催されます。準備もあわせると5日間ぶっ通しで子供達の側にいなくてはなりません。自分の子供なら「ちょっと疲れたから、少し休ませて！」と言えるのですが、何せ人の子。更には1日平均800人もの子供達がいて、代わる代わる子供達がやってきます。しかも子供達は手加減を知りません。全力で遊んでいるので、そのパワーに1



日付き合っただけでもクタクタなのに、それが5日間あるわけですから…。栄養ドリンクを1日2本飲んでいましたが、それでも追いつきませんでした。3日目あたりから、体中が痛くて夜中に足も攣りました(笑)そんな思いをしながら全力で子供達のサポートをさせていただきました。そのお陰か、終わる間際にはたくさんの子供達の笑顔が見れましたし、親御さんの感謝の声をたくさんいただきました。また機会があれば、ぜひ参加しようと思えました。ちなみに…体調が元に戻るまでに1週間かかりました…。私も年をとったな～(笑)



喜んでいただけました！のコーナー

施設にいるおばあちゃんがお盆に家へ帰ってくると聞いて、私もおばあちゃんに会いに行きました。おばあちゃんに「久しぶりに、自分の家に帰ってきた感想は？」と聞くと、「やっぱり家が良いね～」と言って笑顔で答えてくれました。色々な事情があって、今は施設だけどやっぱり家が一番良いんだな～って感じました。この日はたくさんの子供や孫も集まってみんなで食事会をしました。お

ばあちゃんは施設の食事もおいしいよ！って言っていました、やっぱり家族みんなに囲まれながら食べるご飯は格別おいしそうでした。この日ばかりは…っと思ひ、普段では食べられないような物をどんどんお皿に盛って、みんなと話しながら楽しい時間を過ごしました。ちなみに私が差し入れたのはちょっと高級なメロンと、すごく美味しそうな団子です。これなら歯がないおばあちゃんでも

食べられるし、どちらも甘くて美味しいモンね！またこの「びすてむ通信」を施設に持って行くので、その時に美味しいおやつと一緒に食べようね！こんどは夏らしく、わらび餅かスイカにしようかな。(あ、これは9月のびすてむ通信だった…。書いているのは真夏の8月だったので、時差があることをお許しください…)

みんなのひとり言

先日、事務所に仲間が増えました。ザク君とアツガイ君です。たぶん、皆さんは「??」ってなっている事でしょう…。それは以前、会社のみんなから、社長宛に送られた誕生日プレゼントだったのです。社長はガンダムが好きだという事で、プラモデルをプレゼントされていたのです。組みあがったプラモデルをみんなが見たがっていたので社長が持ってきてくれたのです。それを見るなり「最近のプラモデルはすごいな～」ってガチャガチャみんなでいじっていました。最近はと言うと…宮崎君の机の横で毎日違うポーズをさせられています(笑)先日は「ランニングと親父座り」というわけの分からないポーズをさせられていました(笑)

今月の格言！

自分自身を十分に愛せていないから相手に何かを求めてしまう
(ピーター・セージ)

もっと自分を大切にしてください。相手が何もしてくれなくても、あなたはとっても素晴らしい人なんですから！